2018年度 民間住宅ローン利用者の実態調査
【民間住宅ローン利用者編】（第2回）

調査の概要

1 調査方法

インターネット調査

インターネット調査会社のモニター220万件のうち2の調査対象の要件を満たす方に対し、インターネットによるアンケート調査を実施し、先着順に回答があった民間住宅ローン利用者1,500件を調査対象とした。

2 調査対象

民間住宅ローン利用者  n=1,500（うちフラット35利用者  n=131）
・2018年10月から2019年3月までに民間住宅ローンの借入れをされた方
・全国の20歳以上60歳未満の方（学生の方及び無職の方を除く。）
※居住用の新規の民間住宅ローン（借換ローン、リフォームローン、土地のみのローン又はアパート若しくは投資用のローンを除き、フラット35を含む。）

3 調査時期  2019年4月15日～4月23日

4 調査項目  利用した住宅ローンの金利タイプや住宅ローン選びに関する事項

2019年6月28日
独立行政法人 住宅金融支援機構 国際・調査部
調査結果

1. 利用した金利タイプ

○「変動型」の利用割合が6割を超えた。
一方、前回調査と比べて「固定期間選択型」、「全期間固定型」は減少した。

住宅ローン利用者が利用した金利タイプ

<table>
<thead>
<tr>
<th>住宅ローン利用者が利用した金利タイプ</th>
<th>2015年度第2回</th>
<th>2015年度第3回</th>
<th>2016年度第1回</th>
<th>2016年度第2回</th>
<th>2017年度第1回</th>
<th>2017年度第2回</th>
<th>2018年度第1回</th>
<th>2018年度第2回</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>変動型</td>
<td>43.2</td>
<td>38.7</td>
<td>49.2</td>
<td>47.9</td>
<td>50.4</td>
<td>56.5</td>
<td>57.0</td>
<td>60.3</td>
</tr>
<tr>
<td>固定期間選択型</td>
<td>26.9</td>
<td>25.3</td>
<td>36.9</td>
<td>35.1</td>
<td>36.9</td>
<td>30.1</td>
<td>25.3</td>
<td>25.1</td>
</tr>
<tr>
<td>全期間固定型</td>
<td>29.8</td>
<td>36.0</td>
<td>13.9</td>
<td>17.0</td>
<td>12.6</td>
<td>13.3</td>
<td>17.7</td>
<td>14.6</td>
</tr>
</tbody>
</table>

調査対象期間 ⇒ '15/7-'15/10 n=1039
'15/11-'16/2 n=977
'16/3-'16/9 n=1746
'16/10-'17/3 n=1500
'17/4-'17/9 n=1495
'17/10-'18/3 n=1500
'18/4-'18/9 n=1500
'18/10-'19/3 n=1500

調査会社 A 社  →  調査会社 B 社
2. 固定期間選択型の当初の金利固定期間

○ 固定期間選択型の「当初の金利固定期間」は、前回同様、期間「10年」と同「10年超」との合計が8割を超えた。

固定期間選択型（当初の金利固定期間）

2015年度第2回 2015年度第3回 2016年度第1回 2016年度第2回 2017年度第1回 2017年度第2回 2018年度第1回 2018年度第2回
n=280 n=247 n=644 n=526 n=552 n=452 n=379 n=376
3. 全期間固定型の商品内訳

○「全期間固定型」では、「フラット35」の利用割合が約6割、「フラット35以外」の利用割合が約4割となった。
4. 金利タイプ（借入月別）

〇 足元の「変動型」は、概ね6割の水準で推移している。

利用した金利タイプ（借入月別）
5. 金利タイプ（住宅の種類）

○「変動型」の利用割合は、「新築建売」が最も多く、これに「新築マンション」、「中古マンション」が次いでいる。

| 利用した金利タイプ（住宅の種類） | 变動型 | 固定型
<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>注文新築</td>
<td>57.5</td>
<td>29.8</td>
</tr>
<tr>
<td>(敷地同時取得)</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>注文建替え</td>
<td>57.0</td>
<td>25.5</td>
</tr>
<tr>
<td>新築建売</td>
<td>58.5</td>
<td>37.7</td>
</tr>
<tr>
<td>新築マンション</td>
<td>68.3</td>
<td>16.8</td>
</tr>
<tr>
<td>中古戸建</td>
<td>66.3</td>
<td>17.6</td>
</tr>
<tr>
<td>中古マンション</td>
<td>54.8</td>
<td>26.0</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>64.9</td>
<td>22.2</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>100%</td>
<td>100%</td>
</tr>
</tbody>
</table>

注: 各種住宅の選択型変動金利タイプの割合を示しています。
6. 借入先別の金利タイプ

○ 借入先別の金利タイプをみると、「その他（モーゲージバンク等）」を除き、全体的に「変動型」が多く、とりわけ「銀行」で6割を超えている。
いずれの金利タイプも、「400万円超〜800万円以下」の年収範囲にある世帯が全体の約6割を占めている。

世帯年収

![Bar Chart: Household Income Distribution by Loan Type]

- 変動型: n=905
- 固定期間選択型: n=376
- 全期間固定型: n=219

%

- 400万円以下: 6.1
- 600万円以下: 8.8
- 800万円以下: 6.8
- 1,000万円以下: 17.1
- 1,500万円以下: 14.6
- 1,500万円超: 9.1
8. 融資率

変動型と固定期間選択型は融資率「90%超100%以下」が、全期間固定型は「80%超90%以下」が、それぞれ最も多く利用されている。
9. 返済負担率

○ いずれの金利タイプも、返済負担率「15%超20%以内」の利用割合が比較的多い。

返済負担率

<table>
<thead>
<tr>
<th>(%)</th>
<th>変動型 n=905</th>
<th>固定期間選択型 n=376</th>
<th>全期間固定型 n=219</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>10%以内</td>
<td>12.6</td>
<td>10.6</td>
<td>11.4</td>
</tr>
<tr>
<td>10%超15%以内</td>
<td>23.2</td>
<td>21.8</td>
<td>19.6</td>
</tr>
<tr>
<td>15%超20%以内</td>
<td>26.4</td>
<td>24.2</td>
<td>30.1</td>
</tr>
<tr>
<td>20%超25%以内</td>
<td>18.8</td>
<td>17.6</td>
<td>18.8</td>
</tr>
<tr>
<td>25%超30%以内</td>
<td>10.6</td>
<td>9.6</td>
<td>9.6</td>
</tr>
<tr>
<td>30%超35%以内</td>
<td>6.2</td>
<td>6.2</td>
<td>6.2</td>
</tr>
<tr>
<td>35%超40%以内</td>
<td>1.5</td>
<td>1.9</td>
<td>1.4</td>
</tr>
<tr>
<td>40%超以内</td>
<td>2.7</td>
<td>2.9</td>
<td>2.7</td>
</tr>
</tbody>
</table>
10. 今後1年間の住宅ローン金利見通し（金利タイプ別）

○ 今後1年間の住宅ローン金利見通しでは、前回と比べて、「上昇」が減少し、「ほとんど変わらない」が増加している。

<table>
<thead>
<tr>
<th>今後1年間の住宅ローンの金利見通し</th>
<th>0%</th>
<th>10%</th>
<th>20%</th>
<th>30%</th>
<th>40%</th>
<th>50%</th>
<th>60%</th>
<th>70%</th>
<th>80%</th>
<th>90%</th>
<th>100%</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>全体</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2019年4月 n=1500</td>
<td>27.3</td>
<td>59.9</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2018年10月 n=1500</td>
<td>41.7</td>
<td>49.2</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

変動型

<table>
<thead>
<tr>
<th>今後1年間の住宅ローンの金利見通し</th>
<th>0%</th>
<th>10%</th>
<th>20%</th>
<th>30%</th>
<th>40%</th>
<th>50%</th>
<th>60%</th>
<th>70%</th>
<th>80%</th>
<th>90%</th>
<th>100%</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>变動型</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2019年4月 n=905</td>
<td>23.5</td>
<td>65.2</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2018年10月 n=855</td>
<td>36.3</td>
<td>56.5</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

固定期間選択型

<table>
<thead>
<tr>
<th>今後1年間の住宅ローンの金利見通し</th>
<th>0%</th>
<th>10%</th>
<th>20%</th>
<th>30%</th>
<th>40%</th>
<th>50%</th>
<th>60%</th>
<th>70%</th>
<th>80%</th>
<th>90%</th>
<th>100%</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>固定期間選択型</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2019年4月 n=376</td>
<td>31.4</td>
<td>55.9</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2018年10月 n=379</td>
<td>44.3</td>
<td>43.3</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

全期間固定型

<table>
<thead>
<tr>
<th>今後1年間の住宅ローンの金利見通し</th>
<th>0%</th>
<th>10%</th>
<th>20%</th>
<th>30%</th>
<th>40%</th>
<th>50%</th>
<th>60%</th>
<th>70%</th>
<th>80%</th>
<th>90%</th>
<th>100%</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>全期間固定型</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2019年4月 n=219</td>
<td>35.6</td>
<td>45.2</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2018年10月 n=266</td>
<td>55.6</td>
<td>34.2</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
11. 住宅ローンの商品特性や金利リスクへの理解度（変動型・固定期間選択型の利用者）

○ 返済中に金利変動があり得る「変動型」、「固定期間選択型」利用者の住宅ローンの商品特性や金利リスクに関する理解度については、「よく理解していない」、「全く理解していない」とする回答が合わせて1割を超えている。

### 商品性や金利リスクへの理解度

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>変動型 n=905 (%)</th>
<th>固定期間選択型 n=376 (%)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>適用金利や返済額の見直しルール</td>
<td>19.9 36.9 32.4 7.4 3.4</td>
<td>14.4 38.8 34.6 8.8 3.5</td>
</tr>
<tr>
<td>将来の金利上昇によって返済額がどれくらい増えるか</td>
<td>14.5 35.9 38.3 8.0 3.3</td>
<td>12.8 33.2 40.2 10.9 2.9</td>
</tr>
<tr>
<td>金利タイプが異なる住宅ローンと比較した特徴</td>
<td>16.9 37.2 33.3 8.8 3.8</td>
<td>11.4 37.0 38.0 9.8 3.7</td>
</tr>
<tr>
<td>優遇金利の適用ルール（延滞があれば適用されなくなるなど）</td>
<td>15.2 34.0 34.3 12.2 4.3</td>
<td>10.1 32.4 40.4 12.2 4.8</td>
</tr>
<tr>
<td>将来の金利上昇に伴う返済額増加への対応策</td>
<td>14.8 33.5 35.9 11.4 4.4</td>
<td>9.3 31.1 41.2 14.1 4.3</td>
</tr>
</tbody>
</table>
12. 金利上昇に伴う返済額増加への対応（変動型・固定期間選択型の利用者）

○ 金利上昇に伴う返済額増加への対応についてみると、今回調査では、前回と比較して、変動型で「一部繰上返済」、「借換」がわずかに増加し、固定期間選択型で「返済継続」、「全額完済」、「借換」がわずかに増加した。

<table>
<thead>
<tr>
<th>金利上昇に伴う返済額増加への対応</th>
<th>0%</th>
<th>10%</th>
<th>20%</th>
<th>30%</th>
<th>40%</th>
<th>50%</th>
<th>60%</th>
<th>70%</th>
<th>80%</th>
<th>90%</th>
<th>100%</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>変動型 n=905</td>
<td>25.1</td>
<td>10.6</td>
<td>30.6</td>
<td>14.5</td>
<td>18.7</td>
<td>0.6</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>前回 n=855</td>
<td>25.3</td>
<td>11.5</td>
<td>29.8</td>
<td>11.2</td>
<td>21.2</td>
<td>1.1</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>返済目処や資金余力があるので返済継続</td>
<td>□</td>
<td>□</td>
<td>□</td>
<td>□</td>
<td>□</td>
<td>□</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>金利負担が大きくなれば、全額完済</td>
<td>□</td>
<td>□</td>
<td>□</td>
<td>□</td>
<td>□</td>
<td>□</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>返済額圧縮、あるいは金利負担軽減のため一部繰上返済</td>
<td>□</td>
<td>□</td>
<td>□</td>
<td>□</td>
<td>□</td>
<td>□</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>借換</td>
<td>□</td>
<td>□</td>
<td>□</td>
<td>□</td>
<td>□</td>
<td>□</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>見当がつかない、わからない</td>
<td>□</td>
<td>□</td>
<td>□</td>
<td>□</td>
<td>□</td>
<td>□</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>□</td>
<td>□</td>
<td>□</td>
<td>□</td>
<td>□</td>
<td>□</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

| 固定期間選択型 n=376           | 24.7 | 14.4 | 26.9 | 13.0 | 21.0 | 0.0 |
| 前回 n=379                     | 22.2 | 11.9 | 31.7 | 11.6 | 22.2 | 0.5 |
13. 住宅ローンを利用する上で役立った情報源

住宅ローンを利用する上で役立った情報源は、「住宅・販売事業者」が最も多く、次いで「インターネット」などとなっている。
フラット35では、「住宅・販売事業者」、「インターネット」、「口コミ」などの回答割合が比較的高くなっている。

利用する上で役立った情報源

＜複数回答可＞

フラット35以外 n=1369
フラット35 n=131

住宅・販売事業者（営業マン、店頭、営業所など）
インターネット
金融機関（店頭、相談コーナーなど）
口コミ（親族、友人・知人など）
勤務先（福利厚生、職員向け説明会など）
モデルルーム、住宅展示場
ファイナンシャルプランナー、住宅ローンアドバイザー等の専門家
住宅情報誌
住宅金融支援機構（店頭、相談コーナーなど）
新聞記事
新聞広告
折込チラシ
雑誌（住宅情報誌を除く）
ダイレクトメール
講演、セミナー
テレビ
ポスター等の屋外掲示
交通機関の車体・車内の広告
ラジオ
その他
14. 住宅ローンを選んだ理由（フラット35以外の利用者）

〇 フラット35以外の利用者が住宅ローンを選んだ理由（決め手）では、「金利が低い」が圧倒的に多くなっている。
〇 金利タイプ別にみると、「全期間固定型（フラット35を除く）」で「返済額を予め確定しておきたかった」との回答が5割を超えており、他の金利タイプと大きく異なる。

利用した住宅ローンを選んだ理由（決め手）※フラット35以外の利用者 n=1369

<table>
<thead>
<tr>
<th>理由</th>
<th>フラット35以外の利用者</th>
<th>変動型</th>
<th>固定期間選択型</th>
<th>全期間固定型</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>金利が低い</td>
<td>74.9%</td>
<td>26.4%</td>
<td>36.5%</td>
<td>38.3%</td>
</tr>
<tr>
<td>日頃から返済のし易さ</td>
<td>18.8%</td>
<td>24.3%</td>
<td>28.6%</td>
<td>30.2%</td>
</tr>
<tr>
<td>安心できる相談サポート体制</td>
<td>11.1%</td>
<td>14.5%</td>
<td>15.4%</td>
<td>16.1%</td>
</tr>
<tr>
<td>借入可能かどうか（審査結果）</td>
<td>10.3%</td>
<td>12.6%</td>
<td>13.7%</td>
<td>14.2%</td>
</tr>
<tr>
<td>住宅ローン関連以外の付随サービス充実</td>
<td>8.1%</td>
<td>9.7%</td>
<td>10.6%</td>
<td>11.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>住宅ローンの選びやすさ</td>
<td>7.4%</td>
<td>9.2%</td>
<td>9.6%</td>
<td>10.1%</td>
</tr>
<tr>
<td>手数料、保険料、保証料等の低さ</td>
<td>6.2%</td>
<td>8.0%</td>
<td>8.5%</td>
<td>8.8%</td>
</tr>
<tr>
<td>住宅取得費のほぼ全額を借入</td>
<td>5.3%</td>
<td>7.0%</td>
<td>7.5%</td>
<td>8.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>事前審査から借入までインターネットで手続き可能</td>
<td>4.6%</td>
<td>6.0%</td>
<td>6.5%</td>
<td>7.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>住宅ローンが決まった</td>
<td>3.8%</td>
<td>5.0%</td>
<td>5.6%</td>
<td>6.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>住宅ローンで賃貸をした</td>
<td>2.8%</td>
<td>3.6%</td>
<td>4.1%</td>
<td>4.5%</td>
</tr>
<tr>
<td>住宅ローンアドバイザー等専門家の勧め</td>
<td>2.5%</td>
<td>3.0%</td>
<td>3.5%</td>
<td>4.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>金融機関の勧め</td>
<td>2.3%</td>
<td>2.8%</td>
<td>3.3%</td>
<td>3.7%</td>
</tr>
<tr>
<td>家族や友人、知人の勧め</td>
<td>2.0%</td>
<td>2.5%</td>
<td>3.0%</td>
<td>3.4%</td>
</tr>
<tr>
<td>その他の住宅ローンが利用できなかった</td>
<td>1.7%</td>
<td>2.2%</td>
<td>2.7%</td>
<td>3.1%</td>
</tr>
</tbody>
</table>

※フラット35以外の利用者 n=1369
変動型 n=905
固定期間選択型 n=376
全期間固定型 n=88
15. フラット35を選んだ理由（フラット35利用者）

フラット35を選んだ理由は、「返済額を確定しておきたかった」が最も多く、次に「金利が低い」、「フラット35Sを利用」、「住宅事業者・販売事業者の勧め」などとなっている。

フラット35を選んだ理由（決め手） ※フラット35利用者  n=131

＜複数回答可＞
住宅ローンに対する満足度

○『総合評価』では、「大いに満足」、「やや満足」の合計が5割を超えている。
○項目別にみると『融資額』で、「大いに満足」、「やや満足」の合計が6割を超え、最も高くなっている。

注）平均点：5段階評価について、「大いに満足」5点、「やや満足」4点、「普通」3点、「やや不満」2点、「大いに不満」1点とし、図中の構成比（%）に乗じて算出。

<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>外側</th>
<th>内側</th>
<th>（外側）2018年度第2回 n = 1500</th>
<th>（内側）2018年度第1回 n = 1500</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>総合評価</td>
<td>17.5</td>
<td>38.3</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>融資額</td>
<td>29.5</td>
<td>32.5</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>金利の水準</td>
<td>17.5</td>
<td>32.7</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>申込から融資実行までの事務手続</td>
<td>17.9</td>
<td>40.3</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>金融機関の商品説明や情報提供</td>
<td>16.9</td>
<td>43.4</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>住宅・販売事業者の情報提供</td>
<td>15.9</td>
<td>46.4</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
16-2. 住宅ローンに対する満足度（フラット35とフラット35以外との比較）

○『総合評価』では、フラット35及びフラット35以外ともに「大いに満足」、「やや満足」の合計が5割を超えている。
○項目別にみると、「融資額」の「大いに満足」、「やや満足」の合計で、フラット35がフラット35以外を上回っている。

注）平均点：5段階評価について「大いに満足」5点、「やや満足」4点、「普通」3点、「やや不満」2点、「大いに不満」1点とし、図中の構成比（%）に乗じて算出。
17. フラット35の認知状況

○ 住宅ローンを利用された方の約9割は、フラット35の広告や情報を見聞きしたことがある。
○ 見聞きした媒体としては、「インターネット」、「テレビ」が多く、次いで「住宅情報誌」などとなっている。

フラット35の広告や情報を見聞きしたことはありますか？

フラット35の広告や情報を見聞きした媒体

インターネット 55.7%
テレビ 54.1%
住宅情報誌 28.8%
雑誌（住宅情報誌を除く） 16.8%
新聞 12.1%
ラジオ 3.5%
その他 4.3%

＜複数回答可＞

フラット35の広告や情報を見聞きしたことはありますか？

はいる 90.7%
いいえ 9.3%

n=1500
## 【参考】回答者の基本属性

【住宅ローン利用者】 n=1500

<table>
<thead>
<tr>
<th>項 目</th>
<th>全体 n=1500</th>
<th>うちフラット35 n=131</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>サンプル数</td>
<td>構成比%</td>
</tr>
<tr>
<td><strong>年齢</strong></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>20歳代</td>
<td>218</td>
<td>14.5</td>
</tr>
<tr>
<td>30歳代</td>
<td>850</td>
<td>56.7</td>
</tr>
<tr>
<td>40歳代</td>
<td>328</td>
<td>21.9</td>
</tr>
<tr>
<td>50歳代</td>
<td>104</td>
<td>6.9</td>
</tr>
<tr>
<td><strong>家族構成</strong></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>夫婦のみ</td>
<td>352</td>
<td>23.5</td>
</tr>
<tr>
<td>夫婦と子</td>
<td>899</td>
<td>59.9</td>
</tr>
<tr>
<td>夫婦と子と親</td>
<td>66</td>
<td>4.4</td>
</tr>
<tr>
<td>本人と親</td>
<td>40</td>
<td>2.7</td>
</tr>
<tr>
<td>1人世帯（単身）</td>
<td>64</td>
<td>4.3</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>79</td>
<td>5.3</td>
</tr>
<tr>
<td><strong>世帯年収</strong></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>400万円以下</td>
<td>103</td>
<td>6.9</td>
</tr>
<tr>
<td>400万円超～600万円以下</td>
<td>470</td>
<td>31.3</td>
</tr>
<tr>
<td>600万円超～800万円以下</td>
<td>443</td>
<td>29.5</td>
</tr>
<tr>
<td>800万円超～1000万円以下</td>
<td>244</td>
<td>16.3</td>
</tr>
<tr>
<td>1000万円超～1500万円以下</td>
<td>181</td>
<td>12.1</td>
</tr>
<tr>
<td>1500万円超</td>
<td>59</td>
<td>3.9</td>
</tr>
<tr>
<td><strong>地域</strong> 注</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>首都圏</td>
<td>490</td>
<td>32.7</td>
</tr>
<tr>
<td>東海圏</td>
<td>191</td>
<td>12.7</td>
</tr>
<tr>
<td>近畿圏</td>
<td>282</td>
<td>18.8</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>537</td>
<td>35.8</td>
</tr>
<tr>
<td><strong>住宅の種類</strong></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>注文新築</td>
<td>487</td>
<td>32.5</td>
</tr>
<tr>
<td>注文新築（敷地同時取得）</td>
<td>337</td>
<td>22.5</td>
</tr>
<tr>
<td>注文建替え</td>
<td>53</td>
<td>3.5</td>
</tr>
<tr>
<td>新築建売</td>
<td>161</td>
<td>10.7</td>
</tr>
<tr>
<td>新築マンション</td>
<td>187</td>
<td>12.5</td>
</tr>
<tr>
<td>中古戸建</td>
<td>104</td>
<td>6.9</td>
</tr>
<tr>
<td>中古マンション</td>
<td>171</td>
<td>11.4</td>
</tr>
<tr>
<td><strong>金利タイプ</strong></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>変動型</td>
<td>905</td>
<td>60.3</td>
</tr>
<tr>
<td>固定期間選択型</td>
<td>376</td>
<td>25.1</td>
</tr>
<tr>
<td>全期間固定型</td>
<td>219</td>
<td>14.6</td>
</tr>
</tbody>
</table>

注：首都圏：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
東海圏：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
近畿圏：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
その他：首都圏、東海圏、近畿圏以外

* 各構成比については、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。